

Yokohama Arts Foundation

令和6年8月16日  
(公財)横浜市芸術文化振興財団  
大佛次郎記念館

## くらまてんぐ テーマ展示『鞍馬天狗 誕生100年』

### おさらぎじろう 大佛次郎が生んだヒーロー、小説47作、映画63作

今から100年前の1924年(大正13)、劇作家を志していた一人の青年が、大佛次郎という筆名で講談調の小説「快傑鞍馬天狗 鬼面の老女」を書きました。幕末を舞台に活躍する正体不明の剣士、鞍馬天狗の誕生です。以降、大佛は鞍馬天狗シリーズを40年にわたって執筆、映画では嵐寛寿郎など多くの名優が天狗役を演じました。

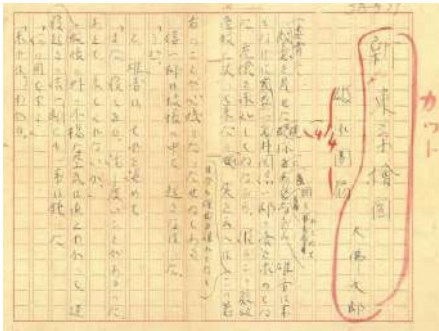
横浜・港の見える丘公園にある大佛次郎記念館では、誕生100年を記念して、大佛次郎と鞍馬天狗がともに歩んだ軌跡をたどる展示を開催します。小説の創作背景を紐解きつつ、次第に作家の手を離れ、愛すべきヒーローとして人々の間に浸透していく様子を、当時の玩具類、赤本漫画、映画ポスターなどの多彩な資料から見つめます。

#### みどころ【1】

「鞍馬天狗」自筆原稿を、草稿や書き損じ等の初公開資料も含めて展示。創作の裏側に迫る！

#### みどころ【2】

日本屈指の鞍馬天狗コレクターが集めた玩具類、映画チラシ、ポスター等を厳選して公開！



↑鞍馬天狗シリーズ29作目「新東京絵図」原稿、1947年  
戦後初の鞍馬天狗作品。明治維新後「東京」に改称した江戸を主な舞台とした作品。



↑ペーター佐藤「鞍馬天狗 天狗廻状」装幀画  
1981年  
(PATER'S Shop and Gallery 所蔵)



↑シール、凧、お面、メンコ  
【磯貝宏国コレクション】

←映画「鞍馬天狗」ポスター、1928年  
嵐寛寿郎プロダクション  
【磯貝宏国コレクション】

会期	2024年8月31日(土)～2025年1月5日(日)	料金	大人(高校生以上) 200円(150円)、 中学生以下 無料 ( )内は20人以上の団体料金 ※横浜市在住の65歳以上の方 100円 ※毎月23日「市民の読書の日」と第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
開館時間	9月まで 10:00～17:30(入館は17:00まで) 10月以降 10:00～17:00(入館は16:30まで)		
休館日	・毎週月曜(祝日の場合は翌火曜) ・年末年始(12/29～1/3)		

※当展示会の情報掲載をよろしくお願ひします。取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

#### お問い合わせ先

大佛次郎記念館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長:吉原瑞恵 展示担当:金城瑠以 広報担当:大房奈央子 TEL:045-622-5002 Mail:osaragi@yaf.or.jp

2024年度テーマ展示II

# 鞍馬天狗

KURAMA 誕生 TENGU



—— ヒーロー、100年の歩み ——

2024. 8.31 (土) — 2025. 1.5 (日)

おさらぎじろうきねんかん

大佛次郎記念館 (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)  
The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113 (港の見える丘公園内)  
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <https://osaragijiro-museum.jp>

開館時間/～9月 10:00～17:30 (最終入館17:00)  
10月～ 10:00～17:00 (最終入館16:30)



休館日/毎週月曜日 (祝休日の場合は翌平日)、年末年始 (12/29～1/3)

観覧料/一般 200円 中学生以下無料 20名以上の団体は150円

\*横浜市内在住の65歳以上の方は100円。(演ともカード等をご提示ください)

\*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

\*毎月23日 (市民の読書の日) と第2、第4土曜日は高校生無料。

協賛:株式会社浦辺設計 / 大佛次郎研究会 / 横浜高速鉄道株式会社 広報協力:株式会社ボンパドウル

※予定を変更する場合がございます、最新の情報はホームページ等でご確認ください。

# 鞍馬天狗

## 誕生100年

2024. 8.31 (土) — 2025. 1.5 (日)

幕末期の日本を駆ける、覆面の剣士、鞍馬天狗。  
明るく颯爽とした人柄で、剣の腕前は「一刀流皆伝」。初期には勤王の志士として新選組らと剣を交えますが、角兵衛獅子の杉作少年など、市井の人々に寄り添って様々な事件に挑みます。今から100年前、大佛次郎(1897-1973)がシリーズ第1作を発表。以降、原作小説は47作品、映画では嵐寛寿郎など多くの名優が天狗役を演じました。本展では、原作小説をめぐる作家とキャラクターの歩みとともに、次第に原作者の手を離れ、愛すべきヒーローとして人々の間に浸透していく様子を、当時のオモチャ、赤本漫画、映画ポスター等の資料から見つめます。



大佛次郎による「鞍馬天狗」直筆原稿を、草稿や書き損じも含めて展示。創作の裏側に迫る!



日本で屈指の鞍馬天狗コレクターが集めた玩具類、映画関係資料を大公開! 磯貝コレクション: 磯貝宏國(1943-2012)氏は小学生の頃に鞍馬天狗映画と出会ってから、図書、映画ポスター、メンコなど約1万点の資料を収集。コレクションは氏の没後、当館に寄贈された。



土門拳《近藤勇と鞍馬天狗 江東》1955年(土門拳記念館所蔵)



大佛次郎「鞍馬天狗 新東京絵図」原稿 1947年



お面、メンコ

映画「鞍馬天狗」ポスター 1928年、嵐寛寿郎プロダクション 嵐長三郎から改名、独立プロ第一作目

ペーター佐藤《鞍馬天狗 雁のたより》装幀画 1981年 (PATER'S Shop and Gallery所蔵)



### 1階ロビー

#### 亀田蔵書 古地図コレクション

故 嶋田昌子氏旧蔵の古地図とともに、大佛作品に描かれた開化期のヨコハマを紹介。

日時:「鞍馬天狗 誕生100年」展に同じ  
観覧料:無料、要入館料  
主催:NPO法人 横浜山手アーカイブス

### 3階

#### 鞍馬天狗「地獄太平記」deクイズ in大佛次郎記念館

鞍馬天狗シリーズ最終作の「地獄太平記」。作品に秘められた謎を、館内をめぐる解いてみよう。

日時:「鞍馬天狗 誕生100年」展に同じ  
参加費:無料、要入館料

### 横浜開港記念会館

#### 映画上映「鞍馬天狗 大江戸異変」

映画上映後に、当館研究員の講演「鞍馬天狗誕生100年によせて」を実施。

日時:2024/9/21(土) 13:15上映(12:45開場)  
会場:横浜市開港記念会館(ジャックの塔)  
チケット:前売券(自由席)1,000円  
(チケットびあPコード554-049)  
主催・お問合せ:横浜キネマ倶楽部  
080-2554-8023(10時~18時)

#### シティガイドと歩く「鞍馬天狗」の舞台☆ヨコハマを巡る

『鞍馬天狗』シリーズから、横浜が舞台となった作品の解説と、その場所を訪れるガイドツアー。記念館ではティールーム霧笛で大佛夫人ゆかりのチーズケーキと珈琲を味わうほか、展示鑑賞・見学等を予定。

日時:2024/12/12(木)、12/15(日)

両日とも9:30集合

集合場所:みなとみらい線 元町・中華街駅 5出口(元町口)

コース予定:運上所跡、港崎遊廓跡(横浜公園)ほか ※現地解散

募集人数:各回20人(先着順、雨天実施・荒天中止)

参加費:2,000円(珈琲&チーズケーキ料金・入館料・保険料含む)

申込方法:11/11(月)から

横浜シティガイド協会ホームページ

主催・お問合せ:NPO 法人 横浜シティガイド協会  
045-228-7678(平日10時~16時)



※各事業の詳細は、当館HPにてご確認ください。

### 展示解説

第2土曜日14:00~約30分  
9/14、10/12、11/9、12/14

### たてものミニ・ミニトーク

第3土曜日14:00~約15分  
9/21、10/19、11/16、12/21

### 休館のお知らせ

毎週月曜(祝日の場合は翌火曜)、  
年末年始(12/29~1/3)  
1/6~1/20は展示替および  
工事に伴う臨時休館

### 次回展示予告 2025/1/21(火)~4/20(日)

「大佛次郎と 山口蓬春」同時開催  
「大佛次郎× ねこ写真展2025」



- みなとみらい線(東急東横線直通)で:元町・中華街駅下車(元町方面改札)/6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを使用、アメリカ山公園経由)/5番出口(谷戸坂経由)いずれも徒歩8分
- JR線根岸線で:石川町駅下車(元町口)徒歩20分
- 神奈川中央交通バス11系統(桜木町駅~保土谷駅東口)
- 市営バス20系統(桜木町駅~山手駅)
- 観光スポット周遊バス「あかいくつ」  
いずれも港の見える丘公園前で下車、徒歩2分

## 大佛次郎記念館

(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)  
The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)  
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071  
https://osaragijiro-museum.jp